

共翔

第28号



Its Show^(毒)time



● 目 次 ●

【巻頭言】「Hic Rhodus, hic saltus とは何か」 櫻田美津夫…………… 2

【研究ノート】「60円とグアニン」 鈴木利典…………… 4

【図書館活動報告】 …………… 6

【学生協働】・図書館サポーター活動報告…………… 8

・卒業する図書館サポーターからのエール……………10

・Webブックハンティング報告……………12

【ブックガイド】 ……………14

【ユーザーズガイド】・貸出中の本を予約したいときは……………16

・自宅でeBook・データベースを活用しよう……………17

【利用者へのメッセージ】 ……………20



イラスト：図書館サポーター 職員一同、館内の消毒に奮闘中！



巻頭言

Hic Rhodus, hic saltus とは何か

就実大学教授 図書館長 櫻田 美津夫



本学図書館の玄関に入ってすぐ右手の壁に、上記の銘が印字されているのをご存じだろうか。どういう意味かなと一瞬疑念が浮かんでも、それっきり気にもとめない人が大半だろう。小文では、このラテン語の銘「ヒーク ロドゥス、ヒーク サルトゥス」、つまり「ここにロードス島、ここで跳躍」の「真意」を探ってみたい。

実は、図書館がL館にあった頃の利用案内には、ちゃんと次のように解説されていた。

これは「これがロードス島だ。ここで跳べ！」の意です。古くは「イソップ物語」に見え、ヘーゲルの「法哲学」の冒頭にも引用されている有名なことばです。その真意は「ここが美しい真理の在りかだ、これを基礎にして飛躍せよ」ということです。(以下略)



では、19世紀ドイツの哲学者ヘーゲルはこの言葉をそもそもどのような文脈で用いたのだろうか。『法の哲学』の比較的新しい訳(岩波書店、2000年、上巻、19-20頁)を読んでみよう。そこでは、この論述は「国家をそれ自身において」把握し叙述しようとする試みだとされ、「これがロードス島だ、ここで跳べ」が引用される(※最近ではロードスという表記が優勢)。そして「現にあるところのものを概念によって把握すること、これが哲学の課題である」と続いていく。ヘーゲルは、この論述の目的は、あるべき理想国

家を論じることではなく、現実の国家をふまえて、その範囲内で(ロードス島内で)考察することだ、と言っているように筆者には聞こえる。

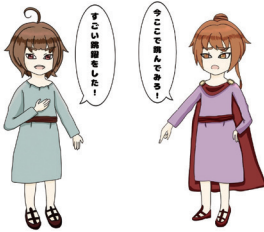
この『法の哲学』での引用は、ヘーゲルの影響下から現れたマルクスの『ルイ・ボナパルトのブリュメール18日』(講談社学術文庫、2020年の新訳、22-23頁)にも登場する。文意をつかむのは易しくないが、同訳書中の「ここがロードス島だ。ここで跳べ！」は、後もどりでできない現実と直面させられ、それに従うほかない状態、をさしているようだ。

マルクスは『資本論』のなかでもこの言葉を引用しているので(岩波文庫、第1冊、289頁)、かつてわが国で学生運動が活発だった頃、マルクス主義的な若者たちはこれをよく知っていたらしい。山川健一の小説『これがロードスだ、ここで跳べ！』(アマーバックス新社、2010年、64-65頁)によれば、デモに行こうかどうか迷っているときなどに、「逮捕されるとヤバイなあ」に対し「これがロードスだ、ここで跳べ！」という具合に、よく使われたのだという。

最初に紹介したように、この言葉の本源はイソップ物語までさかのぼる。岩波文庫の『イソップ寓話集』(54頁。仏語版原著での校訂・翻訳・解説はE.シャンプリ)には、以下のようなほら吹き

の競技者の話が載っている。
男らしくないと言っていつも町の人たちに非難された五種目競技者が、或るとき他の町へ旅に出た。しばらくして再び帰ってくると、法螺を吹いて、他の町々でもしばしば堂々と競技をやって、ロードスではオリュンピア競技の選手たちの誰一人及び

得ない程の跳躍をやったと言いました。そしてもしいつか諸君がこちらへ行くことでもあったら、その場に居あわせた人々がその証人になってくれるだろうと付け加えました。しかしそこに居た人々のうちの一人が口を切って、彼に言いました。「だが、君、もしそれがほんとうなら、何も君は証人を必要とすまい、ここにロドスがある、さあ、跳んで見給え。」



イラスト：一安 美里 (生活実践科学科2年)

この話は、事実によって証明することの手っとり早いものについては、言葉はすべて余計なものである、ということを示しています。

最後の一文は原著の校訂者のものだろう。また16世紀の人文主義者エラスムスはその『格言集』のなかのⅢ-3-28でこう解説する (*Spreekwoorden/Adagia*, Amsterdam, 2011, pp.469-470)。

「ここにロドス島がある、まずは跳んでみよ」はたいていの場合、証拠がないのに成しとげた何かについて大げさに自慢する人について言われる。それはアイソポス〔イソップ〕の名で伝えられている寓話から引かれたものである。或る若い男がロドス島にいたときすごい跳躍をやったと自慢していた。聞いていた一人がその言葉をさえぎりこう言った。「ここにロドス島がある、まずは跳んでみよ」と。それゆえこの格言は、どこか他所でおこなったと自慢げに語るその成果を実証せねばならない人々にあてはまる。(以下略)

要するに、この言葉の本源の意味は、華美な表現で飾るのでなく実力で示せ、ということだろう。実は最近やっと知りえたのだが、まだ短期大学のみだった時代の図書館長、姫野誠二先生が、本学園の校是である「去華就実」(華を去り実就く、つまり、外見上の華やかさだけに心奪われるのではなく内面の充実に努めよ、の意)に最も意味が近い西洋の格言として、この *Hic Rhodus, hic saltus* を選んでくださったのだそう。 (※ちなみに、AKB48の2015年の曲「ここがロドスだ、ここで跳べ!」の歌詞を聴くと、イソップ物語の趣旨に比較的忠実であることがわかる。) この本源の意味で理解するのが妥当だ、というのが一応筆者の考えである。とはいえ、ヘーゲルやマルクスなどによる捉え方が不当だと言うつもりもまったくない。

話は飛ぶが、紀元前4世紀頃のギリシア人学者デモクリトスには、その古代原子論を要約した「何物も無からは創造され得ないし、無へ消滅することもない」という名言がある。何か或る物の原子の配列が変わることで別の何かが生じるのであり、その逆も同じだという意味である。しかし、遠い昔或る講義でこの言葉を紹介したとき、授業後一人の女子学生が教壇にやってきて笑顔でこう告げた。「先生、今日の授業はよかった。最近私は〈無〉だった。〈無〉からは何物も生まれませんよね。元気が出ました!」聞くと、近頃無気力に陥って何もしない、できない状態だった由。「無からは何物も生じない」の一言が彼女に靈感を与え、転機をもたらしたのである。

同様に、「ここにロドス島、ここで跳躍」の「真意」も一つだけである必要はないと考える。さまざまな受けとめ方、解釈があってもいいのだ。名言・格言とは、もともとそういうものなのではあるまいか。

(※小稿執筆にあたり、神原邦男、黒瀬知子、若見理江の各氏から貴重な情報・資料等を頂戴しました。)

60円とグアニン

薬学部 薬学科教授 鈴木 利典

35年ほど前のこと、私は新任の理科教員として夜間定時制高校に着任しました。やんちゃすぎる生徒と大人しすぎる生徒が半々です。様々な問題を抱え、小学校・中学校の勉強に置いて行かれた子どもたちです。昼間にしんどい仕事をして、夕方から勉強です。教室で普通の講義形式の授業を始めたのですが、誰も聞いていません。そこで、必ず実験をすることにしました。例えば、速度の授業です。廊下にメジャーで10mを測り、印を付けます。生徒が歩き、かかった時間をストップウォッチで測ると、大体10秒です。1秒あたり1mなので、これが秒速です。ここから時速を求めます。「問1. 1分は何秒か?」。やんちゃな生徒から「なめとんのか」と声がかかります。全員「60秒」とわかります。「問2. 1時間は何分か?」。また、「なめとんのか」です。全員「60分」とわかります。「問3. 1時間は何秒か?」。ここで、彼らはちょっと考えます。見て回ると、答えを「360秒」としています。ひとりふたりではありません。20数人のクラスの半分の10数人が「360秒」としていました。「ちゃ

んと計算したのか?」と聞くと、「やった」と不機嫌です。ノートに、ちゃんと 60×60 の計算をしており、360となっていました。実生活のお金の計算で困ったことが起こりそうです。「60円を60人からもらって、360円でもいいか?」と聞きました。すぐに「損した気がする」との返事。しばらくそのままにしておく。「わかった、3600円だ」といいます。私達にとって、60円には、少しだけ「うれしい感じ」があります。アンパンが半分買えます。60円には、アンパン半分ぐらいの重量感や満足感が伴っています。それを60人からもらえば、ものすごいことになります。360ぐらいのすごさではないと感じられるので、自分が計算で出した答えがおかしいことに気がつくのでしょうか。彼らは計算ができないわけではないのです。人からやらされるだけの計算は、ただ面倒なので、最小限の労力で、6と6を掛けてゼロを一つ付けてやって360になると考えられます。意味の感じられない計算には、力が入らないだけのことです。授業での計算は続きます。一時間で3600m進みますので、時速は約4 km/hです。24時間である



狛犬と私：赤磐市下仁保にて



お地藏さん：吉備中央町納地舞地にて

鈴木先生からのおすすめ本



A・v・フォイエルバッハ 著
中野善達、生和秀敏 訳

『カスパー・ハウザー：地下牢の17年』福村出版(1977)

コメント

30年ほど前、あまり本を読まない私が、無茶苦茶本を読む妻から渡された一冊。一度読み、二度読み、三度読み、大げさに言うと50回は読んだ。謎だらけの实在の人物の話。人間の根本の根本の根本について書かれている気がする。

※鈴木先生には、福武文庫版(西村克彦訳)をご紹介いただきましたが、現在本学所蔵は福村出版のほうでしたので、こちらを掲載しています。

1日では、100km歩けます。1年間歩き続けると、地球1周できます(4万km)。10年歩くと、月まで行けることがわかります(38万km)。次に、グラウンドへ出て、生徒が自転車で100mを最高速で走り抜け、その時間から速度計算です。この速度で1年頑張れば、月まで行けます。

30年ほど前、定時制高校の教員をしながら、社会人の大学院生としてDNAの傷の研究を始めました。DNAは、各細胞の真ん中にあり、細胞を作るための情報が入っています。DNAは、2本の長い糸に、核酸塩基と呼ばれる4種類の「粒」が、大量にくっついたものです。この4種類の「粒」は、似たような形をしているのですが、それぞれ性質が異なります。私の研究は、体の中で出会うかもしれない化合物を、試験管の中でDNAに触れさせてみて、この「粒」にどのような反応が起こるかを調べるのです。長い時間付き合っていると、この4種類の「粒」の性格がわかってきます。お気に入りの「粒」は、「グアニン」です。とにかく、繊細で傷つきやすく、「また君が反応しましたか」「また君ですか」といった具合です。その壊れ方も複雑で、何種類もの生成物が検出されます。私達の細胞のDNAは、絶え間なく大量に傷ついています。発がん性物質は、強烈にDNAに傷をつけるものですが、発がん性物質で

なくても傷をつけます。生命にとって最も重要な、あの水(H₂O)でさえも、高頻度でDNAを傷つけています。この文章を読んでいる間にも沢山の傷がつきますが、細胞にはその傷を治す酵素がいて、大変なスピードで修復しています。しかし、長い時間の間に、酵素が直しきれないまま細胞の複製が起こることがあり、新しい細胞のDNAに、前とちがう「粒」が固定されてしまいます。それが、変異です。変異には、「運の良い変異」と「運の悪い変異」があります。「運の悪い変異」の積み重ねにより、自分自身の性格の良い「正常細胞」が、言うことを聞かない「がん細胞」になるのです。このように、「がん」の始まりには、DNAの傷があります。傷を受ける頻度が高ければ、「がん」になる確率も高まります。4種類の「粒」の中で、最も傷を受けるのが「グアニン」です。もし、「グアニン」に、他の3種の「粒」と同じぐらいの鈍感さと強さがあれば、ヒトが「がん」になる確率は、半分以下に減少することでしょう。一方で、変異は「進化」の原動力でもあります。生物は、変異によって進化し、様々なことができるようになりました。もし、「グアニン」が丈夫な分子だったら、このように文章を書いたり読んだりする生物は、まだ出来ていなかったと思います。



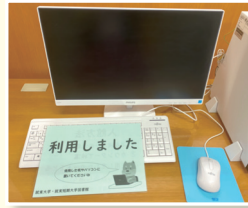
新しい生活様式へ 図書館もチェンジ!

閲覧机、PC、プリンター、カウンター
周り等の消毒作業を行っています
返却された本のアルコール消毒および
日光消毒をしています
配架時に書架の消毒作業を行っています



<利用者の皆さんへ>

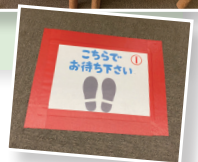
アルコールによる手指消毒および検温
を行ってから入館
閲覧机、PCの利用後には「利用しま
した」カードを置きます



- 短縮開館 (9時~17時)
- WebClassに図書館ガイダンス2020コースを開設
ガイダンス資料、図書館案内動画、演習問題、論文の入手方法等
に関する資料をアップ
- 各種データベースのリモートアクセス対応
データベース会社に臨時ID、PWの発行を依頼
マガジンプラス、聞蔵、医中誌Web、EBSCOhost、
ジャパンレレッジ、丸善eBookLibrary
- 4/21~ 臨時閉館



- 5/8~ 学生から図書の貸出や文献の複写依頼を
メールで受け付け
- 5/11 飛沫防止カーテン製作、設置
- 5/12 2階カウンター前 順番待ち間隔開け標識製作、掲示
- 5/18 2階PCコーナー、閲覧机、ブレイクコーナー、
1階エントランス机、椅子に間隔開け標識製作、掲示



図書館活動報告



- 6/2～制限付き開館(9時～17時)
(来館時にはメールで事前連絡必要)
【学生協働】オンライン交流会(Google Meet)
- ようこそ図書館へ(掲示)
こんな時ですが、やりたいことを書いてみよう!
(幸福のてんとう虫)



Webブックハンティング実施

(紀伊國屋書店、丸善雄松堂のインターネット書店サイト上で学生が選書)
→学生体験記 p.12-13



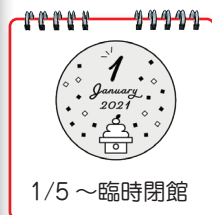
- ゼミ生対象図書館利用案内
- 10/20 2階PCコーナー
PC・机移動(新しい生活様式対応のため)

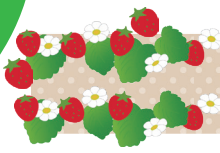


- 11/24～昼食時
(12:30～13:00)の
見回り強化(職員2人1組)
【学生協働】
図書館ゲーム開催準備



- クリスマス掲示
おすすめの巣ごもりグッズを書いて
ツリーの飾りつけをしよう!
 - スペシャル講座「絵本翻訳の世界」
(講師:武部好子先生)
- 【学生協働】リアル謎解きゲーム
「トランスポーター
～預かった荷物に
隠されていた秘密とは～」
→学生体験記 p.8-9





図書館サポーター活動報告

図書館サポーターとは

図書館を盛り上げることを目的とした団体です。学生の希望により6年前に発足しました。

例年であれば、絵本の読み聞かせやグッズ作成、読書会、POP作成など、自主企画グループを発足し、学科・学年を越えて活動しています。

今年度は“集まる”ことが難しくなり、活動が制限されましたが、そんな状況下でも明るく楽しく、活動しました！

館内飾りつけ



クリスマスツリー、館内の飾りつけを行いました。



『図書館紹介動画』完成！

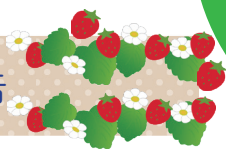
昨年度、映研とコラボして撮影した図書館紹介動画が完成！

図書館サポーターが多数出演しています。

図書館の利用方法がわかりやすく紹介されています。



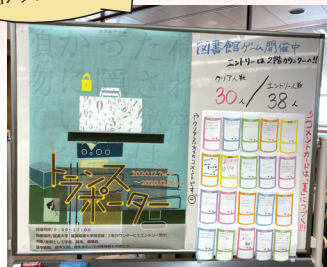
図書館サポーター活動報告



図書館ゲーム

総合歴史学科 濱崎 和洋

クリアした学生さんからのコメントがたくさん！



私たち図書館ゲーム班の活動は今年で5年目の節目の年を迎えました。しかし今年は新型コロナウイルスの影響により前期授業のオンライン化と学内施設の立ち入りが制限されるなど、例年とは異なる状況であったため活動は大きく制限されました。これまで図書館ゲームは5月ごろからメンバーが集まって企画を立て、時間をかけて準備を行っていたのですが、今年は前期の時点ではメンバーが集まって話し合うことができず、そもそも開催自体ができるのわからないという状況であったため前期の間は全く活動を行うことができませんでした。それでもメンバーの中から感染対策をしたうえでなんとか開催したいという声もあったため、図書館の職員の方とも協力して急ピッチで準備を進めました。各自の役割に応じて少数で集まる、例年よりも職員の方のお力もお借りするなどの工夫も行いました。ストーリーや問題、ポスターなどもメンバーが短い期間の中で作り上げるなど努力した結果、なんとか開催にこぎつけることができました。

今年は図書館ゲームの開催期間が短かったにもかかわらず、1年生を中心にたくさんの人がゲームに参加してくれたことはとてもありがたかったです。来年度に感染状況が今よりも落ち着いていて、ゲームの開催ができる状況になればより楽しく参加できるものを作成しますので、皆様ぜひ参加してみてください。



茶封筒の中に問題が…！



クリアした5景品がもらえるよ！

短い準備期間でも、みんなで協力してやり遂げました！



しおり作成

消しゴムはんこや、手描きのイラストでデザインしたしおりを作成しました！

カウンター前で配布しました。

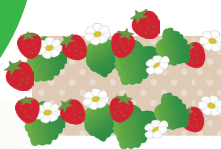


学生の皆さん、ぜひ私たちと一緒に、得意なこと、好きなことを活かしながら学生協働をしませんか。

図書館サポーターはいつでもメンバーを募集中です！

気になった方はお気軽に図書館カウンターにてお声がけください！

声かけてね



卒業する図書館サポーターからのエール



絵本の読み聞かせやグッズ作成など、様々な体験を通して、楽しみながら、多くの学びを頂きました。図書館の職員の皆様、サポーターの皆さん、ありがとうございました。これからも皆様のご活躍を願っております。

(表現文化学科 山口 美咲)



図書館サポーターになり、主にPOPの作成をしました。最初は手探りしながらの作業なので、どうなるか少し不安でした。完成したPOPにより、利用者が本を借りるきっかけを作るという間接的にサポートできたことがとても嬉しかったです。また、短い期間でも色々な学科の方と交流することができ、交流の幅を広げることが出来ました。

短い期間でありましたが、本当にありがとうございました。皆様のご活躍を心より願っております。

(生活実践科学科 一安 美里)



1年生の頃から図書館サポーターとして活動していました。色々な体験をしましたが、一番印象に残っているのが、園児に読み聞かせをしたことでした。

大勢の人の前で読み聞かせは初めての経験だったので緊張しましたが、メンバーと練習を重ねたおかげで、本番では皆楽しそうに読み聞かせを聞いてくれました。あの笑顔と拍手が印象的でした。

図書館サポーターとしての活動は初めてのことが多いと思いますが、後回しにはせずちょっとずつでいいので頑張ってみてください。

(表現文化学科 千田 瑠子)

私は3年生から図書館サポーターに所属しました。本当に多くの経験をさせていただきましたが、一番心に残っていることは絵本の読み聞かせの活動です。読み聞かせをするのは中学生以来ということもあり、緊張しましたが、子供達の笑顔を見れたことが、何よりも嬉しかったです。

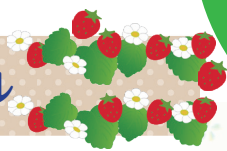
最後になりますが、サポーターの皆様、職員の皆様、大変お世話になりました。

そして、本当にありがとうございました。

(総合歴史学科 宗近 大空)



卒業する図書館サポーターからのエール



私は主に絵本の読み聞かせや新入生オリエンテーションの活動をしてきました。特に印象に残っているのは、一昨年で小学校での読み聞かせを経験させていただいたことです。絵本の読み聞かせ班、初の試みだったため緊張しましたが、小学校の子たちに楽しんでもらい、とても嬉しかったです。昨年は残念ながらコロナ禍によってできませんでした。後輩の皆様が楽しんで図書館サポーターの活動することができるよう、一刻も早くコロナが終息し、さらなるご活躍を願っております。今までありがとうございました。

(表現文化学科 吉田 彩香)



図書館サポーターとして、新入生オリエンテーションや絵本の読み聞かせなど貴重な体験をさせていただきました。いつも温かい図書館職員の方々、学科や学年を問わず本が好きな図書館サポーターの方々と一緒にいることすべてが楽しく、素敵な思い出になりました。今まで本当にありがとうございました。図書館サポーターの方々には引き続き、対面での集まりが難しく大変なことあるかと思いますが、新たな発想や取り組みができる良い機会にもなると思います。後輩の皆様のご活躍と就実図書館の更なる発展を願っております。

(初等教育学科 朝原 菜摘)



私は、二年生から図書館サポーターとして活動させていただき、様々なことを経験することができました。その中でも特に、図書館サポーターが企画・運営する図書館ゲームのポスターを二年間制作させていただけたことは、とても良い経験になりました。ゲーム参加者の方に「ポスターを見て興味を持った」と言っていただけでもあり、挑戦して良かったと思いました。

図書館サポーターの活動は沢山あり、どれも貴重な経験になると思います。これからも、多くの図書館サポーターの後輩が、もっと活動を盛んにしてくれることを楽しみにしています。短い間でしたが、お世話になりました。

(表現文化学科 余傳 菜鈴)





Webブックハンティングとは？

Webの書店サイトで好きな本を選べるイベントです。
 例年のブックハンティングは、実際に書店へ出向いて本を選ぶのですが、今年度は感染症のリスクを考慮して、オンライン化しました!!!
 丸善雄松堂書店と紀伊國屋書店の選書サイトを利用します。
 いつでも、どこからでも、インターネット環境があれば選書できます。
 選書額の範囲なら何冊でも選べます!
 選んだ本は図書館の書架に並びます。POPを作成してみんなにオススメしましょう!

Q. どんな本を選んだらいいの？



A. こんな本を選んでね!

- ・図書館に置いてほしい本(図書館で読みたい本)
 - ・卒論や就活に必要な本
 - ・講義やレポート作成に役立てたい本
- など

Webブックハンティングの流れ

書店のWebサイトに
ログインして選書

図書館で
重複チェックします

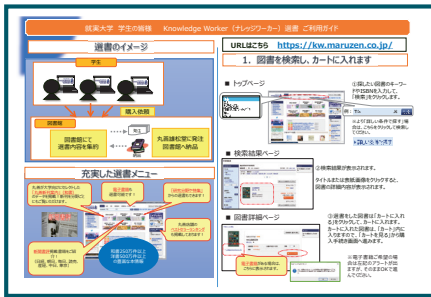
新着図書コーナーに
POPと一緒に展示

書店サイトを利用するためのID,PWはGmailでお知らせ!

既に図書館に置いてある本、雑誌、漫画、携帯小説、DVDなどは対象外となります

図書が到着して、貸出の準備が整ったら一番最初にお知らせします!

選書サイト利用ガイド



丸善雄松堂書店

紀伊國屋書店



ブックハンティング専用サイトへ



Web選書トップページ

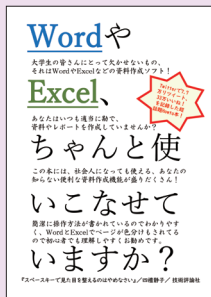


Webブックハンティング報告



ブックハンティング体験記

実施期間：2020年9月16日～30日
参加者：21名
選書冊数：97冊



今回のブックハンティングは新型コロナウイルスの影響もあり、Web上でのブックハンティングとなりました。今回の書店は丸善雄松堂様と紀伊国屋書店様にご協力いただきました。どちらのサイトにも面白い本がたくさんあって全部注文したいくらいでした。最初はWeb上で上手く出来るのか心配でしたが、図書館の職員の方々の援助もあり、ネットショッピング感覚で選ぶことができてとても楽しかったです。期間内ではありましたが、自分の好きな時に好きなだけ時間をかけて選べるので、焦ってしまうことはなく、書店に向向いて実際に選書するのはまた異なった面白みがあってとても新鮮でした。参加者の方々が時間をかけて選んだ選りすぐりの本の数々を是非手に取ってみてください。一緒に作ったPOP（本の紹介文）もそれぞれの個性が出ていて必見ですよ！

（表現文化学科 熊澤 有理子）



今年は図書館に行くことも難しい中、各書店のオンラインサイトを利用したブックハンティングに参加させていただきました。私はいつも無心で店内を歩き、目に止まった本を選ぶようにしているのですが、今回はその疑似体験としてGoogleの画像検索を用い、その時思いついた1単語でヒットした本から選びました。この方法は新鮮で、手には取れませんが新刊紹介やオススメに無い本とも出会うことができました。今年はいつもと違う点多々ありました

が、新しい本との出会いにとってもワクワクしました。このような機会を頂きありがとうございます。

（薬学科 時長 はるか）

今回、初めてブックハンティングに参加させて頂きました。今回のブックハンティングはコロナの影響によりインターネット上で興味のある本を選出するシステムでしたが、それが逆に不精な自分にとっては興味深く参加のきっかけとなりました。時間の制約もなく、様々な情報を収集しながらゆったりと選べるこのシステムは自分に合っていると感じましたが、それと同時に実際に書店に赴く本来のブックハンティングも体験してみたいと感じることが出来ました。図書館に置く本を自分で選ぶという経験はなかなか出来るものではないので、とても貴重な経験が出来て良かったです。今後、是非ともより多くの人にブックハンティングを楽しんで欲しいと思います。

（薬学科 長島 麻日奈）

ブックハンティングで選ばれた本は
新着図書コーナーへ配架します！



柚木麻子著

『本屋さんのダイアナ』 (新潮社)



「憧れ」はいつまで経っても手に届かないところにある。成長しても届かず、やるせない気持ちでいっぱいになる。自分で頑張った大きな成果さえも、他者にとっては小さい成果だと素直に喜ぶことができない。そんな青年期にある苦悩や葛藤を主人公である二人の少女の成長過程と共に書かれている。母子家庭で水商売をしている母に育てられた「大穴(ダイアナ)」、両親に愛され、裕福な家庭で育った「彩子」。正反対と思える家庭環境ながら出会った二人が求める「憧れ」とは、「幸せ」とは何か。読んだ後にじんわりと心が温かくなる一冊。

(表現文化学科 岩城 梨菜)

桑原博史全訳注

『とりかへばや物語 夏の巻』 (講談社/講談社学術文庫 294)



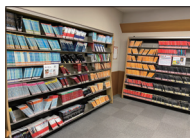
この物語は、男は、女は、こうあるべきであるという価値観に逆らって生きた兄妹の物語です。私の好きなところは2つあります。1つめは、妹の冷静な分析です。前半は基本的に妹目線で、後半は兄目線で物語が進みます。特に、前半の

妹目線の地の文は、冷静に物事を分析しつつ、一方で感情豊かにも表現されておりとても面白いです。2つ目は、どんなときでも自分を貫いた2人の生き方です。性別や立場が変わっても、自分のやりたいことに突き進む生き方は変えない2人の生き様はとってまかつこよく、元気や勇気をもらえます。「4巻もあって読む気にならないなあ。」という方は、夏の巻だけでもぜひ読んでみてください。

(初等教育学科 土肥 桃子)

Michael Lacey Freeman 著

『Egghead』 (ELI/Teen ELI Readers)



図書館1Fプラウジングルームに配架。「Egghead」をはじめ、初心者にも優しい英語読本があります!

いじめられっ子の主人公マイケルはみんな

からエッグヘッド(頭でっかち)と呼ばれ、学校が大嫌い。そんな中いつも助けてくれるのは彼の唯一の味方、誰にも見えないマイケルが作り出した架空の友達、アンドリュー。アンドリューそして、マイケルと同じくいじめられっ子の友達デイビッド、毎朝挨拶をしてくれる近所のおじさんトム、沢山のの人に支えられマイケルは成長していく。

成長を遂げたマイケルの勇気ある行動は元氣と希望を与えてくれ、心を軽く優しい気持ちにしてくれます。可愛い挿絵と字体でスルスル読めるので、何か悩みがある人・少し疲れている人にもおすすめの一冊です。温かい飲みものをを入れて休憩に読んでみてください! :) (実践英語学科 藤井 温子)

米澤穂信著『さよなら妖精』

(東京創元社/創元推理文庫)



「哲学的意味はありますか」遠い異国ユーゴスラヴィアからやってきた少女マーヤがどのように問う日常のふとした疑問。そしてユーゴスラヴィア六共和国のどこにマーヤは帰っていったのか。その謎を日本の高校生、守屋と太刀洗、その仲間たちが解き明かしていく青春ミステリーである。読後は虚しさ、無力感を感じ、やるせない気持ちになった作品だった。だが名前すら知らなかったユーゴスラヴィアという国について知ることもできたし、興味を持つきっかけにもなった。そしてタイトル『さよなら妖精』の意味も分かるだろう。この本は私にとって忘れられない大切な一冊である。

(総合歴史学科 渡部 カオル)



瀬尾まいこ著『君が夏を走らせる』 (新潮社/新潮文庫)

瀬尾まいこさんの「君が夏を走らせる」という本を紹介します。この本は一つの出会いはから始まる、読んでいて、とても心温まる本です。金髪少年の主人公太田は、ある日先輩の願いで先輩の娘の鈴香の子守りをするようになります。初めは何もわからない状態で苦労していたが、試行錯誤するうちに鈴香との絆も生まれます。鈴香との関わりの中で成長し、新たな一歩を踏み出した主人公を応援したくなる本です。是非同じ作者さんの「あと少しもう少し」の作品と一緒に読んでみてください。

(幼児教育学科 萩原 希怜)

村上春樹著

『海辺のカフカ』

(新潮社)



端的に村上春樹の作品を好きな人なら読むべき、と書こうかとも思いましたが、そういう人がこの本を読んでないわけがありませんでした。僕は、村上春樹の作品に小気味よい印象があるのですが、時に言語化が不十分といった印象を持つ人もいます。それは、形而下と形而上の繋がり部分だろうと思います。妄想癖がある僕には、蓋然であることが感じられるのですが、自身の妄想を夢想や、白昼夢と思い違いしている人にとってはどうなのでしょう。また、形而下でしか世界観を持っていないのであれば、どう考えるのでしょうか。僕には分かりません。しかし、この作品を読むことと、多少の省察で、自身の思考の慣習は理解ができると思います。気づけば、「ホシノ」から「カフカ」になっているのではないのでしょうか。それでも、「ナカタ」は異次元に感じるでしょうが、端的に、翻訳調が好きな人は読むべきでしょう。

(経営学科 小林 憲弥)

川村元気著

『世界から猫が消えたなら』

(マガジンハウス)



猫などのペットを飼っている方に特にオススメの本です。物語は、月曜日から始まり、日曜日で終わる本です。1日ごとに変化があるので、本をあまり読まない方でも次々読み進めることができます。普段、私たちは何かすることや時間に追われていることがありますが、猫にそんなことは全くありませんよね。そんな猫の飼い主である主人公の人間視点と猫視点の対比が面白くて、でも途中から出てくる悪魔の行動によってラストには目がうるうるします。私のペットもこんなことを考えているのかな～と今までの日常がプラスでもっと楽しくなるのではないのでしょうか。ページ数も224ページと多くはなく、映画化された作品なので是非読んでもらいたい一冊です。

(生活実践科学科 奥山 あい華)

夢野 久作 / ホノジロトラジ著

『死後の恋』

(立東舎)



立東舎から刊行されている乙女の本棚シリーズの第14弾がこの『死後の恋』になります。シリーズの第6弾になる、著者・イラストレーターが今回と同じ『瓶詰地獄』から私はこのシリーズのファンになりました。どの作品も素晴らしいですが、この作品はロシア最後の皇帝の末娘、アナスタシア生存説を夢野久作独自の霊感的な文とホノジロトラジさんのイラストによって描いています。

舞台はロシア革命直後のウラジオストク。老人にしかみえない青年が日本人の軍人に声を掛けることから物語は始まります。青年は自身の話を聞き、肯定さえしてくれば、自身の全財産を渡すといひます。死後の恋とは何なのか。青年はなぜ信じてほしいのか。最後の一言の真相とは。読む人によって見え方が変わる、夢野久作らしい作品です。

(表現文化学科 政安 采美)

李栄薫著

『反日種族主義 日韓危機の根源』

(文藝春秋)



近年、日本と韓国との関係は悪化の一途をたどっている。慰安婦問題や日韓請求権協定、竹島問題など、耳にしたことがあるのではないのでしょうか？なぜ韓国は総じて日本に厳しい態度をとるのか。紹介する本では、慰安婦問題、日韓請求権協定など様々な問題を取り上げ、そこには韓国に根付く反日種族主義が底流にあると著者は述べている。聞きなれぬ種族主義とは同一の主張の人々がまるで種族のようになり、意見の合わないものとは対話せず力づくでも排除しようとする非寛容な心を指す。この反日種族主義が韓国には蔓延しており、それが日韓の関係を危機に陥らせている、というのが著者の見立てです。反対の立場に立つ書物も読み比べてみるという条件つきですが、一読に価値する本と思います。

(薬学科 戸羽 鴻志郎)

図書館HPは
<https://www.shujitsu.ac.jp/toshokan/> です!



貸出中の本を予約したいときは
図書館HPを利用しよう! 予約編

OPACで調べたら、貸出中だった!

そんな時は、MyLibrary (マイライブラリ) から予約をしましょう



首里の馬
シュリノウマ
高山羽根子著
東京：新潮社，2020.7
図書

巻号情報
貸出中

No.	予約人数	所在	請求記号	資料ID	資料種別	貸出区分	状況	備考
1	0	2F新着図書コーナー	913.6 Ta	002820674	図書	普通	貸出中	

予約 登録

貸出中

1 予約

2 ID・パスワード (学内PCに入るときのアカウント) を入力してログイン

ログイン

ログイン名
パスワード

ログイン

ヘルプ

注意事項

操作が終了したら、必ずログアウトしてください。

予約：入力

入力 確認 完了

資料
首里の馬,
高山羽根子著, 新潮社, 2020/7.

利用者

通信欄

中止 確認に進む

3 確認に進む

予約：確認

入力 確認 完了

資料
首里の馬,
高山羽根子著, 新潮社, 2020/7.

利用者

通信欄

中止 修正 この内容で予約

4 この内容で予約

予約の依頼を完了しました。

予約を受け付けました。
内容は以下のとおりです。

入力 確認 完了

予約番号 10001878
予約日 2021/01/07

資料
首里の馬,
高山羽根子著, 新潮社, 2020/7.

5 この画面が出たら予約完了です

マイライブラリを使った後は必ず **ログアウト** しましょう。
予約ができるのは“貸出中”の本のみです。

自宅で eBook・データベースを活用しよう 図書館 HP を利用しよう！

リモートアクセス編

学外からでも利用できる
ebook・データベースをご紹介します！



Maruzen eBook Library (1冊につき同時アクセス1)

丸善が提供する e-Book です。さまざまなジャンルの本が閲覧できます。

図書館 HP → 資料を使う → e-Book (電子書籍) → Maruzen eBook Library

就実大学

日本語の本や
英語読本が
たくさん読めるよ！

学外から利用したい場合は学内PCでアカウント登録してください。詳しくは
<https://www.shujitsu.ac.jp/assets/files/toshokan/siryoebook/file01.pdf>
をご覧ください。アカウントには90日間の有効期限がありますのでご注意ください。



日経 BP 記事検索サービス (同時アクセス1)

「日経ビジネス」など、日経 BP 社の雑誌記事が閲覧できます。論文・レポートの書き方や就活にも役立ちます。

図書館 HP → マイライブラリ

マイライブラリにログインすると、学外からでもアクセスできます。

トップメニュー > マイライブラリ

マイライブラリ

お知らせはありません。

★ 情報

日経BP記事検索サービス
<https://bizboard.nikkeibp.co.jp/daigaku2/>

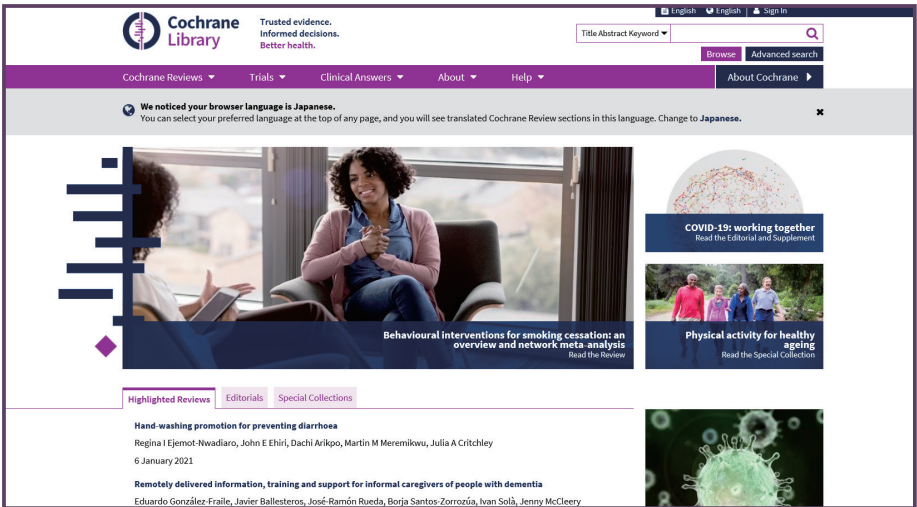
ここをクリックすると、
『日経BP記事検索サービス』
につながります！
(次のページへ続く)



コクランライブラリ (The Cochrane Library)

医療系の情報を検索できる英語のデータベースです。

図書館 HP → 情報を調べる → 学術情報ポータル



学外から利用したい場合はWiley Online Libraryのユーザー登録→学内PCからWiley Online Libraryにアクセスすることで60日間リモートアクセスが可能となります。詳しくは <http://www.wiley.co.jp/electronic/user.html> をご覧ください。

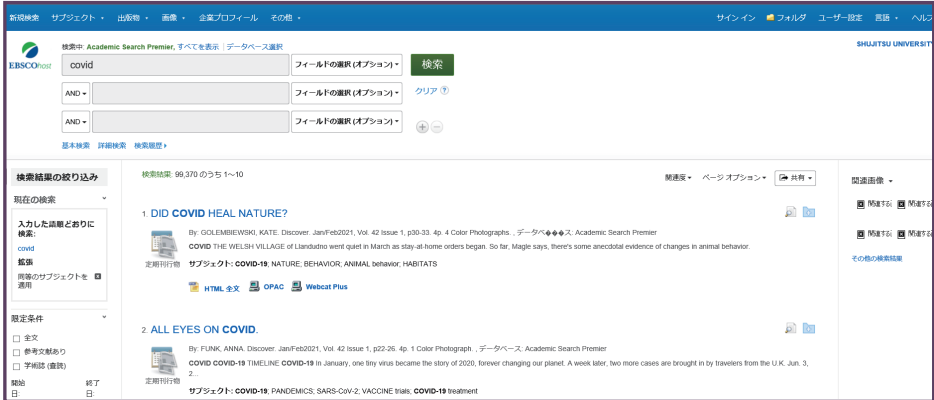


EBSCOhost [外国語の文献を探すデータベース]

教育学・心理学から経営学・自然科学系までさまざまな種類の文献を検索できます。

図書館 HP → 情報を調べる → 学術情報ポータル → ERIC ほか

- ・ Business Source Elite / Regional Business News (ビジネス関連)
- ・ APA PsycArticles (心理学)
- ・ ERIC (教育関連)
- ・ MEDLINE (薬学・看護学・歯科学・獣医学・ヘルスケアシステム・前臨床科学)

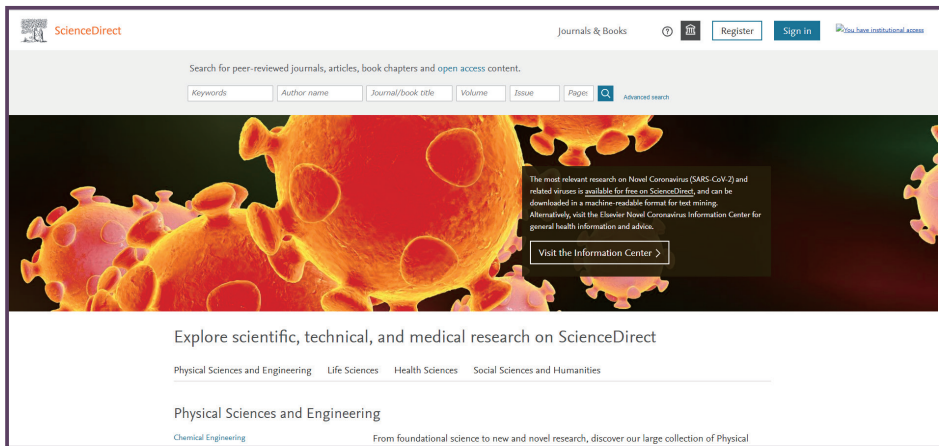


学外から利用したい場合はID/パスワードをお伝えしますので、
メールで図書館 (ref-lib@shujitsu.ac.jp) までお尋ねください。

ScienceDirect (Elsevier)

科学・技術・医学・社会科学分野の電子ジャーナルと電子ブックを検索することができます。

図書館 HP → 資料を使う → 電子ジャーナル



学外から利用したい場合はScienceDirectでユーザー登録→学内PCからリモート
アクセス登録をしてください。詳しくは

<https://www.shujitsu.ac.jp/assets/files/toshokan/siryoun/journal/about.pdf>

をご覧ください。



他にも学内では国内最大級の辞書・事典サイト
「ジャパンレヅジ」や朝日新聞の記事が検索
できる「聞蔵」など、たくさんのデータベース
がご利用いただけます。





● 巻頭言に寄せて

HIC RHODUS, HIC SALTUS



HIC RHODUS, HIC SALTUS (L館時代)
現在L館1階南側は保健管理センターになっていますが、大学創設当時は図書館入口でした。

図書館の銘にまつわるエピソードは様々です。大学が創立して、まだ間もない頃の文学部長が、入学式後のガイダンスでお話された内容も、また、別の捉え方でした。「無人島（ロードス島）に流れ着いた人々が、この島には何も無いと言って嘆いたが、実はこの島には食べものも、脱出するための材料もあった。」という譬え話をされ、「この大学への入学は第一希望では無かったかもしれませんが、この大学には自分を成長させるだけの図書も施設も先生方も揃っています。暗澹たる気持ちを持ち続けるのではなく、大いに活用し、しっかり学んでください。」とお話されました。昔々のエピソードですが、図書館の銘を見るたびに、その時の光景がよみがえってきます。

現在のように、自由に対面で大いに語り合うことが厳しい時期にあっても、足元を見つめ、今図書館でできるサービスを考え展開する必要があると考えています。2021年度も様々な仕掛けで、皆さんにアプローチしていきますので、楽しみにしてください。

図書館の銘にまつわるエピソードは様々です。大学が創立して、まだ間もない頃の文学部長が、入学式後のガイダンスでお話された内容も、また、別の捉え方でした。「無人島（ロードス島）に流れ着いた人々が、この島には何も無いと言って嘆いたが、実はこの島には食べものも、脱出するための材料もあった。」という譬え話をされ、「この大学への入学は第一希望では無かったかもしれませんが、この大学には自分を成長させるだけの図書も施設も先生方も揃っています。暗澹たる気持ちを持ち続けるのではなく、大いに活用し、しっかり学んでください。」とお話されました。昔々のエピソードですが、図書館の銘を見るたびに、その時の光景がよみがえってきます。



HIC RHODUS, HIC SALTUS
現在図書館1階エントランス右側の壁を飾る銘板には、撫子の花の意匠とともにこの格言が印字されています。



● 図書館と
コラボし
ませんか

登校もままならない時ですが、図書館のスペースを利用して、作品の展示やイベントを開催しませんか。

例えば、絵や写真を飾ったり、情報を発信したり、演奏会や動画撮影、利用者参加型のゲームを行ったり・・・可能性はさまざまです。アイデアのある方は、お気軽に図書館職員へお声がけください。

● 図書館スペシャル講座へ参加しよう！



図書館では年に何回かスペシャル講座を開催しています。講師は学内の先生だけではなく、学外からもお招きしています。お話を聞きたい先生や興味のある分野があったら、図書館職員へご相談ください。

2020年度開催講座
・「絵本翻訳の世界」(講師：武部好子先生)

共翔 第28号

令和3年2月20日発行

編集・発行
就実大学・就実短期大学図書館

〒703-8258 岡山市中区西川原1-5-22 TEL(086)271-8134 FAX(086)271-8275
ホームページ <https://www.shujitsu.ac.jp/toshokan/>

※館報の題字は押谷善一郎名誉教授の書によるものです。